

下京のひびき

市民しんぶん下京区版

11・15

推計人口	男	女
74,437人	34,497人	39,940人
世帯数	37,788世帯	
(平成16年10月1日現在)		

12月5日(日)下京区総合防災訓練

～他区に先駆け、10回目の実施～

地震は前触れもなく突然起こります。地震から自分や家族などの生命や財産を守るためには、その時に「どのように判断し、どのように行動するか」を常日ごろから意識し、訓練を積み重ねておくことが重要です。

下京区防災会議では、区民の皆さんに正しい防災知識と的確な行動力を身につけていただくため、今年も、区民参加型の総合防災訓練を実施します。平成7年度に他の区に先駆けて実施して以来、ちょうど10回目の防災訓練です。皆さん、ぜひご参加ください。

当日は、「午前9時に京都府南部を震源とする直下型地震が発生し、区内に多数の被害が発生している」との想定で訓練を実施します。

日時 12月5日(日)
午前9時～11時30分

場所 梅小路公園
主催 下京区防災会議

問合せ 総務課(☎371・7164)



救助



救出



消火



協力

区民参加型防災訓練の内容

区民の皆さんの参加により行う、自主防災会の訓練内容は次のとおりです。

● **避難所運営訓練**

梅小路公園へ避難すると、自主防災会ごとに避難集合場所を設営し、応急給水訓練、避難所ごみ対策訓練、仮設トイレ組立訓練などを行います。

● **救出救護訓練**

ジャッキやパールなどの器材を使用して、模擬倒壊建物などから要救助者を救出し、応急救護所まで搬送します。

● **初期消火訓練**

避難場所に隣接する6か所で火災が発生したとの想定により、水消火器やバケツリレーによる消火訓練を実施します。

地震に対する家庭や地域での備え

- 日ごろから、家具の転倒防止や照明器具などの落下防止措置、寝る場所に家具を置かないなどの工夫をしましょう。
- ブロック塀の転倒防止や瓦・看板などの落下防止措置を行いましょう。
- 非常持ち出し品(貴重品、3日分の食糧・飲料水、常備薬、懐中電灯、携帯コンロなど)を整理しておきましょう。
- 建物の出入口に物を置かないなど避難路を確保し、避難時にエレベーターを切るなど出火防止に努めましょう。
- 家族との連絡方法を確認しておきましょう。N T T災害用伝言ダイヤル「171」(声の伝言板)の活用も有効です。

災害への対応力の向上を



京都市長 榎本頼兼

多くの活断層が存在し、南海地震の影響も受ける京都では、大地震がいつ発生しても不思議でないと言われています。

京都市では、災害から市民の皆様の生命と財産を守るため、総合的な防災対策を推進していますが、万が一のときは、皆様一人ひとりの確かな行動が被害を最小限に抑えるうえで重要です。

10回目を迎える下京区総合防災訓練に区民の皆様の積極的なご参加・ご協力をよろしくお願い致します。

であいふれあい町衆のまち いきいき下京

